

平成23年度 決算報告書

(様式2-1)

平成23年度 決算報告書

国立大学法人鹿屋体育大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,481	1,481	—	
施設整備費補助金	—	104	104	(注1)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	14	14	—	
国立大学財務・経営センター施設費交付金	20	21	1	(注2)
自己収入	536	572	36	
授業料、入学料及び検定料収入	489	521	32	(注3)
附属病院収入	—	—	—	
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	47	51	4	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	17	93	76	(注5)
引当金取崩	—	—	—	
長期借入金収入	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	—	—	—	
計	2,069	2,285	217	
支出				
業務費	2,017	1,955	△62	
教育研究経費	2,017	1,955	△62	(注6)
診療経費	—	—	—	
施設整備費	20	125	105	(注7)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	14	11	△3	(注8)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	17	97	80	(注9)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	—	—	—	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	—	—	—	
計	2,069	2,189	120	
収入-支出	—	97	97	

※記載金額は百万円単位とし、表示単位未満は四捨五入して表示

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備費補助金については、繰越が認められた事により、予算額に比して決算額が104百万円多額となっています。
- (注2) 国立大学財務・経営センター施設費交付金については、受入額が見込額を上回ったため、予算額に比して決算額が1百万円多額となっています。
- (注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、主として授業料免除額を決算額に組み込んだことにより、予算額に比して決算額が32百万円多額となっています。
- (注4) 雑収入については、主として講習料収入等が見込額を上回ったため、予算額に比して決算額が4百万円多額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、外部資金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が76百万円多額となっています。
- (注6) 教育研究経費については、退職手当支給者数の減及び経費節減に努めたことにより、予算額に比して決算額が62百万円少額となっています。
- (注7) 施設整備費については、(注1、2)に示した理由により、予算額に比して決算額が105百万円多額となっています。
- (注8) 補助金等については、交付元への返還により、予算額に比して決算額が3百万円少額となっています。
- (注9) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注5)に示した理由により、予算額に比して決算額が80百万円多額となっています。